

# 読売新聞 東京本社を見学

## 「13ひろば」編集委員の研修会

輪転機が大きな音を立てて回転し、目にも止まらぬ速さで新聞を刷りだして行く様子を見たのは、はるか昔、小学生の時の社会科見学だったと記憶しています。

1月18日(木)、編集委員会の研修で、数十年ぶりに新聞社を見学する機会に恵まれました。当日は、見学の手順や読売新聞社の歴史のビデオを見てから、編集局へ。政治部、経済部、社会部、校閲部、編成部、写真部が、仕切りのない広いフロアにまとまっていた。「立ちあい」と呼ばれる編集会議で、多くの記者が取材してきた記事からどれを掲載するかを決定し、製版されて、別の場所にあ

る工場でオフセット印刷で刷り上げる、というのが、現在の新聞作りです。一方、昔は、職人さんが、記事の活字を拾って作った「組版」から鉛版を作成し、凸版印刷をして新聞を完成させていたそうです。このように、今と昔の新聞作りの違いを知ることができました。

見学の最後には、グループに分かれ、新聞の記事作りを体験しました。架空の場所と出来事のモデルが用意されていて、タブレットを使って取材するという、現代風のゲーム感覚で楽しめる体験でした。取材対象のどこに焦点を当てるか、取材場所と関係者をいかにたくさん見つけるかが大変でした。機械の操

作に戸惑いながらも、仲間と相談しながら、どうにかグループごとに記事ができ、印刷されて、オリジナルの新聞ができました。



読者が求める「信頼度の高い新聞記事」を目指して、新聞社の各部署で働く方々が努力された結晶である新聞が、どのようにして私たちの手元に届くのかを知ることでできた貴重な体験でした。(編集委員T)



# 『ユネスコスクール』って何? ~駒沢中学校~

駒沢中学校の正門に『ユネスコスクール』と書いてあるのをご存じですか。

ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章の理念を学校現場で実践するため、国際理解教育を世界中で行うために発足したものです。日本国内では1000校余りの学校が加盟しており、駒沢中学校は平成25年9月に申請・加盟しました。

ユネスコスクールの根幹はESD\*(持続発展教育)であり、駒沢中学校ではこの基本理念に基づいて日頃の教育を進めています。(\*ESD: Education for Sustainable Development)

3年間のカリキュラムの中で「校外学習」「職場体験」「修学旅行」などの体験を通して日本の伝統・文化の大切さを学び、社会における様々な役割を理解して、自分の適性を活かしながら主体的に課題に対応していく能力を育てます。

特に地域と密着した教育として興味深いのは、毎年、地域合同防災訓練に参加して、地域の防災の実態を知り、防災に対する意識を高める教育に力を入れているということです。



ESDの理念に基づいた取り組みの一環で日本の伝統文化(茶道)を学びました。

総合的な学習を通して、グローバルな視野に立ち、次に続く世代まで持続可能な、多種多様な世界の担い手の育成に努める、という大きな目標に向かって日々努力している学校です。

(編集委員M、S)

# 新コーナー①「おもしろ川柳」

【最優秀賞】

うるさいが 妻の小言で ポケ防止

(セキグチ)

【優秀賞】

飲み放題 食べ放題も もうだめか

(パンダじいじ)

非常食 ウチの飯より 旨かった

(上馬庶兆)

たくさんのご応募、

ありがとうございました!

引き続き、皆様のご応募をお待ちしております。受賞された方にはQUOカードを差し上げます。

【締切】平成30年5月30日(水) 必着

【宛先】

〒154-0011

世田谷区上馬4-10-17

(事務局)上馬まちづくりセンター

FAX 5486-7668

TEL 3422-7415

氏名、ペンネーム、住所、電話番号を

明記の上、郵送又はFAXにて。

☆受賞作は30年9月発行の74号に掲載予定

# 駒大コーナー

## 駒澤大学開校130周年記念棟「種月館」& 駒澤大学の歴史

今回の駒大コーナーでは、いよいよ運用が始まる記念棟を駒澤大学の歴史を交えながら編集委員の武野が紹介します。

駒澤大学は、平成24(2012)年に開校130周年を迎えました。これを記念して建設された記念棟、通称「種月館(しゅげつかん)」が今年4月から運用が開始されます。

体育館、学生に大人気であった喫茶パオ、中庭の跡地に建てられた記念棟は地下1階地上9階建てで、太陽光発電など環境にやさしいキャンパスです。「種月館」という名前は、苦

心労役を厭わずに弁道修行に精進するさまという意味を持つ「耕雲種月」からきています。隣接する禅文化歴史博物館の通称は「耕雲館」といい、駒澤大学の文化としての禅文化を受け止め、大いに学修・研究・業務に励む場としていただきたいという意味も込められています。

完成が待ち遠しかった記念棟をやっと使用することができるのがとても嬉しいです。

\*

駒澤大学は文禄元(1592)年、前身となる「学林」が江戸駿河台吉祥寺境内(現在の水道橋付近)に設立されたことから始まり。明治15(1882)年、

麻布北日ヶ窪(現在の六本木ヒルズ付近)に校舎を新築し、移転、同年10月15日に「曹洞宗大学林専門学本校」と改名し、この日は開校記念日となります。駒沢の地に移転したのは大正2(1913)年、今から105年前のことです。

詳しい歴史が知りたい方は、駒澤大学のホームページをご覧ください。

→<https://www.komazawa-u.ac.jp>

## 駒澤大学の歴史クイズ

Q. 記念棟が建設される前にあった体育館。1964年の東京オリンピックの際にある競技の練習場となった。その競技は何?

- ①バスケットボール
- ②バレーボール
- ③バドミントン

正解は②のバレーボールです。バレーボールの会場が現在の駒沢オリンピック公園であったことから、バレーボールの練習場となりました。

